

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	14-133	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
Driving under the influence of alcohol in the Netherlands by time of day and day of the week. オランダにおける曜日・時間帯別の飲酒運転について		
執筆者		
Houwing S, Stipdonk H		
掲載誌		
Accid Anal Prev. 2014 Nov;72:17-22. doi: 10.1016/j.aap.2014.06.004.		
キーワード		PMID
飲酒運転、警察、アルコール呼気検査、曜日、時間帯		24997677
要 旨		
目的： 本研究の目的は、オランダにおける曜日・時間帯別の飲酒運転者の割合を明らかにすることである。		
方法： 2007年1月から2009年8月にかけてオランダの6つの警察署管内でランダムにドライバーのアルコール呼気検査を行った。本研究の対象者は28,057名のドライバーである。		
結果： 飲酒運転の割合が最も高かったのは週末の夜間であった。週末では昼間にも、特に早朝、夕方で、多数の飲酒運転者を認めた。さらに、月曜日と金曜日の朝にも飲酒運転者を認めた。		
結論： 飲酒運転は夜間に限られたものではなく、水曜日から日曜日の夕方にも飲酒運転者の割合が高い傾向が見られた。これらの時間帯に加えて、月曜日・金曜日・土曜日の午前6～8時と日曜日の朝10時までの時間帯にアルコール呼気検査を行うことが、警察にとって効果的であるかもしれない。		